

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 12 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503361		
法人名	医療法人 三宅会		
事業所名	グループホーム新涯		
所在地	〒721-0955 福山市新涯町三丁目14-7 (電話) 084-981-1117		
自己評価作成日	平成27年12月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3471503361-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年12月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様に居心地良く過ごしていただけるように、リビングや廊下は掃除に気を配り清潔に保っている。毎日、全員で体操を行い、身体機能を維持する生活リハビリに取り組んでいる。緊急時には、三宅会グッドライフ病院との連携を図っている為、夜間時の対応もスムーズに行える。地域の行事には積極的に参加し、地域内の小学校との交流や中学校の職場体験学習、高校生のインターンシップの受け入れも行っている。また、年2回行っている避難訓練には地域住民の皆様にも参加して頂き、災害に備えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム新涯は、福山市中心部の田畑と住宅がある静かな環境の中にある。ホームでは、同一法人の理学療法士や作業療法士が作成した、下肢筋力低下防止のプログラムなどの体操を取り入れ、実施している。また、近隣の小学校との交流は活発に行われており、互いに行き来し、利用者の楽しみにつながっている。ホームの庭には、菜園があり、利用者と職員と一緒に季節の野菜や果物を栽培し、食卓に並んだり、近隣住民におすそ分けをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事務所入り口、玄関、各ユニットに掲示し、常に目に入る所に置いている。毎朝職員と理念を唱和、共有し、実践している。また、理念を実践する為に、1年間の行動目標を定め、日々実践している。	開設当初、法人理事長が作成した理念をもとに、運営をされている。理念を具体化するために、1年間の行動目標「利用者さんと笑顔で挨拶をする」を掲げている。利用者と日々の関わり、コミュニケーションをしっかりと取り、少しの変化も見逃さないようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事（盆踊り、敬老会、ふれあいフェスタ等）に参加し、交流を図っている。	町内会へ加入し、年2回溝掃除を職員が行い、地域の方との交流をしている。また、小学校（音楽発表会の参加）、中、高校性とは、職場体験学習を通して、交流を図っている。隣近所の方との、畑でできた野菜や果実などのおすそ分けを通して、日常的に交流し、協力関係が築けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議、地域の行事への参加、小学生との交流で、地域の方と接しながら事業所の力を活かしている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催し、市職員や家族の方、地域の方等に参加して頂き、現況の報告、研究発表や課題について話し合い、また、災害時の避難方法についてもアドバイスをいただいたり、地域の行事の予定等を教えていただいたりしている。	運営推進会議は、奇数月で2か月ごとに開催されている。参加メンバーは、福山市職員、町内会長、民生委員、公民館長、近所の住民、家族が参加されている。事業所の行事内容報告や勉強会の報告を行い、参加者からの意見をもらっている。参加者からの意見を基に、災害時の入居者の状態別（自力歩行可、車いす自走可、車いす介助）などの見取り図を作成した。	会議の議事録には、誰がどの内容を発言したか記載されていない。誰がどの発言をしたか記載するとともに、議事録を、毎月の請求書や事業所たよりに同封し、家族に関心をもってもらい、参加率向上を目指していられることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市担当者にも運営推進会議に参加して実情を把握して頂き、ご意見を頂く等協力関係を築いている。	ここ1年間は、運営推進会議に必ず福山市の職員が2名参加されて、事業所の実績などを伝えられるようになってきている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	施設内で年一回勉強会を実施し、職員全体で身体拘束について、理解力を深め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	グループホームの管理者が講師となり、年1回職員に対して、身体拘束に該当する行為はどういったものなのかについて勉強会を行い、理解を深めている。夜間以外は玄関は施錠しておらず、自宅に帰りた方で、外に出られた方には、職員が納得いくまで付き添いをしたこともある。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	管理者、職員は、研修等に参加し、学んでいる。また施設内でも勉強会を実施し、職員全体で虐待防止の理解力を深めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	職員は研修等に参加し、学ぶ機会はあるが、現在利用する該当者はない。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約・解約の際は十分な説明を行い、了承を得た上で契約・解約している。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	御家族、利用者様からの意見は、面会時や電話連絡時に聞いています。また、受付にはアンケート箱を設置し、意見や要望を記入して頂けるようにしている。	家族からの意見等は、面会時や電話連絡時に聞かれている。利用者の身だしなみ（整容）について意見箱に意見が出され、改善への見直しが行われている。また、家族とのちょっとした会話の中から聞き取ることを心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月一回、職員全体のミーティングを開催し、職員から意見を聞くようにしている。職員の日々の気づきは、毎週のカンファレンスで検討し、共有している。</p>	<p>月に1回、法人の連絡会議があり、代表者に対して、職員の意見を伝える機会がある。ふれあいフェスタの作品展に、利用者の作品を出品するために、材料費の事業所負担を会議でお願いし、購入できるようになったこともある。また、ユニットごとに職員の意見を反映し、利用者同士が交流しやすいように、リビングの机の配置を変えている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則は整備されている。又、管理者は法人全体の会議に参加し、情報を共有すると共に向上心を持って働くことの出来るよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内の勉強会、法人全体の勉強会、外部の研修には積極的に参加できるように機会を設け、介護ケアの向上に努める。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修時は他の同業者と会話するが、そのほかの交流は無いので、相互訪問等でサービスの質の向上に努めたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス開始前よりアセスメントする事で、訴えや要望を聞き、信頼関係の構築に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス開始前より家族の不安点、困っていることを傾聴し、信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前訪問の際の情報を基に、職員でカンファレンスを行い、利用者に何が必要かを見極めて、サービスの提供にあたっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者に対して尊敬の念を念頭に置き、喜怒哀楽を共に感じる事で関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者の状況を面会時または電話で知らせ、情報を共有し、同じ思いで支えているように取り組んでいる。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ホームに訪問してもらいやすい雰囲気作りに努めて、度々訪問して頂けるように努めている。また、墓参りをケアプランに取り組む等、本人の習慣を大切にしながら支援に取り組んでいる。</p>	<p>以前、お花の先生をしていた利用者のもとを、生徒が訪ねてきて、自室でゆっくり過ごしてもらうこともある。また、墓参りには、職員が同行することもある。自宅に帰りたい方には、家族とも相談し、日中自宅へ帰り、夜はグループホームに戻ってくるようにし、なじみの場所との関係が継続できるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士が共に助け合い、生活されることを目指しています。職員は見守りの中、問題は申し送り、ミーティングで把握し、職員が関わり解決している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	終了後も利用者や家族からの相談は受け付けている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者や家族からも情報を得て、思いや意向の把握に努め、得た情報はミーティングやカンファレンスで情報を共有し、思いが実現できるように努めている。意思表示が難しい人には、その時々表情や状況を見極めながら対応できるように努めている。	利用前には、ケアマネジャーが自宅を訪問し、利用者、家族の暮らし方の意向を聞き取り、職員全体で共有している。手先が器用で、編み物が得意な利用者が他の利用者のひざかけを作っていたりしている。入浴介助時などにも、利用者の本音が出やすいので、見逃さないように気をつけて対応されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族様や本人様から個々の生活歴等の情報を収集するようにし、また、何気ない会話からも情報を収集し、職員間で共有し、ケアプランに反映している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日の様子を記録に残し、現状を把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリングを3か月に1回実施し、計画作成担当者を中心に、管理者、看護師、介護職員の意見を聞き、ケアプランの見直しを行っている。</p>	<p>本人・家族・職員の意見を取り入れた介護計画を作成している。また、医師の意見についても、カンファレンスに参加できないことが多いが、事前に意見をもらっている。例えば、便秘がちな方には、薬ですぐ対応するのではなく、お腹を温めたり、マッサージをしてみてはどうかという意見をいただいている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録を基に申し送りやカンファレンスで情報を共有し、実践や見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>事業所で出来る事だけにとらわれず、その時のニーズに応じて最良の支援ができるように、法人内の他施設、医療機関との連携を図り対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域とのつながりを大切にする為、地域の行事等には積極的に参加し、心身共に地域に一体化してもらい、暮らしに楽しみを持ってもらえる様にしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ホームの主治医に訪問診療を行ってもらい、入居者様の健康状態を把握してもらっている。</p>	<p>基本的には、利用時にホームの協力医療機関をかかりつけ医とするよう変更されている。精神科、耳鼻科、眼科、歯科などは、家族が付き添いのもと、ホームでの様子を職員が記載したものを持参し、以前からのかかりつけ医を受診することができている。協力医療機関では、週1回の往診があり、健康管理ができるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	職員は看護職員や訪問看護師に情報（気づき等）を伝え、個々の入居者様が適切な受診や看護が受けられるように支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	通いなれている病院なので、入居者様も入院時には安心して治療ができ、病院スタッフとも情報交換や相談が気楽に出来る関係である。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入居時にはホームの方針を本人様、御家族様に説明している。兆候が見られた場合、本人様、御家族の思いを大切にしながら、主治医を交えて対応方針を決定している。	利用時に、終末期、重度化した際の方針を文書にて説明している。医療行為が必要になってくると、ホームでの看取りは困難なため、現在は、看取りの例はなく、病院へ入院をされている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアルがあり、急変時にも速やかに対応出来る様に備えている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年2回避難訓練を実施している。うち1回は消防署立会いの下で行い、講評を受けている。訓練には地域住民にも声を掛け、参加して頂いている。また、地域の防災訓練にも職員が参加し、津波等の避難場所の確認等を行っている。	年2回（内1回は夜間想定）、消防署立会いの下で避難訓練が行われている。運営推進会議の前半で避難訓練を実施しているため、地域の方も協力ができている。また、地域の防災訓練に職員が参加し、津波等による避難場所の確認等を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	年長者として尊敬し、配慮した言葉使いをし、親しみをこめた対応をするように心掛けている。入浴や排泄の際に、外から見えないように配慮している。毎年法人が行う接遇研修で、人との接し方を学んでいる。	利用者とのコミュニケーションは、一人ひとりの人格を尊重し、苗字にさん付けをして呼んでいる。排泄介助時などは、リビングにトイレが近いので、前側の扉を開閉すると、トイレ内の様子が丸見えになってしまうため、横の扉を使うように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の希望や思いは常に聞き入れる様にしてはいる。しかし、希望に沿うことが難しい場合には、話し合いを行い決定している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人様のペースや希望に沿い、柔軟に対応するように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に美容院を利用して頂き、本人様にも希望を聞いている。御家族様にも協力して頂き、季節に合わせた服装が出来る様に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は法人本部の管理栄養士が献立を立てている。誕生日会等は、行事食を用意して頂いている。入居者様には食材の皮むきや後片付け、洗濯等出来る事を手伝って頂いている。	食事は、3食ホームの職員が手作りに行っている。ホームの南側に畑があり、職員と利用者が一緒に育てた季節の野菜（きゅうり、トマト、大根、白菜など）を使用したメニューのときもあり、会話が弾むきっかけとなっている。利用者もできる方は、下ごしらえや盛り付け、味見をし、食事が楽しくなるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量、水分摂取量を把握し、一人ひとりの健康状態を観察し、それに合わせた支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に声掛け、見守り、誘導し、口腔ケアを行っている。義歯使用の方は、義歯洗浄剤を使い清潔を保つようにしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し，なるべくトイレで排泄が出来る様に支援している。</p>	<p>利用時にオムツ使用の方でも，排泄パターンを把握するため，こまめに声かけをし，排泄時間、回数を確認している。その後、座位が取れるかどうか確認を行い，座位が可能な場合は，トイレ誘導を試みている。すでに排泄がなされていたら，もう少し早い声かけをするなど，職員が共通意識をもち，排泄の自立支援ができるように工夫している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の原因や及ぼす影響を職員が理解し，食事摂取量や水分摂取量を把握しながら，個々に応じた薬に頼らない便秘予防を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>本人様の体調や，入浴時間にも配慮し，週2～3回入浴している。転倒に注意し，ゆったりとした気分で入浴して頂けるように心掛けている。</p>	<p>1つのユニットで，1日3名くらい入浴をしている。午前または午後の日勤時間帯に入浴を行っている。季節によっては，ゆず湯を楽しんだり，リラックスして入浴できるよう工夫している。入浴時には，利用者の本音なども聞きやすいため，職員はなるべくコミュニケーションを多くとるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>夜間安眠できるように、日中は活動的に動いていただけるように努力し、生活習慣や状況に応じたリズム作りを支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の目的や副作用、用法、用量に関して個々にファイルし、職員が把握出来る様になっている。薬の変更があった場合には、情報を共有し、服薬後の観察も記録している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>それぞれの生活歴や得意な事を把握し、その方らしく過ごせる役割が持てる場を作り出せるように努めている。外出、行事等に参加することで、気分転換となるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には、日常的に散歩やドライブをしている。また、希望者には、日用品等の買い物に、職員が付き添い、外出している。</p>	<p>その日の希望に応じて、散歩や買い物を職員が付き添って行っている。散髪も近所まで散歩がてら出かけている。また、花見やバラの見学など、季節に応じた外出も行っており、利用者の楽しみになっている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの希望や力に応じてお金を所持したり、使える様に支援している。金銭管理の困難な入居者様については、御家族様に相談し、必要な時に払い出せるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望に応じて電話を利用して頂き、難しい方には、電話で用件を伝えてあげることになっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングや廊下など、共有スペースは常に清潔に保つようにし、時には入居者と一緒に掃除をすることがある。雛人形や正月、七夕、クリスマス等季節に応じた飾り付けをし、楽しんでもらえるようにしている。</p>	<p>利用者と職員は、随時、共有空間の掃除を行っている。リビングにはソファを置き、くつろげる空間作りを大切にしている。建物の外には、ウッドデッキがあり、畑の様子が眺められるようにしている。季節の貼り絵や、花、置物などを置き、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング兼食堂で対応し、席の配置を換えたりしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に本人の馴染みの物、興味ある物を持参して頂き、過ごしやすい環境を作るように配慮している。</p>	<p>利用者はテレビ、使い慣れたタンス、家族の写真、お気に入りの歌手のポスターなどを持参し、自分の家と同じように居心地がよくなるようにしている。タンスの使い方については、どこに何を入れるか利用者と相談して、収納する場所を決めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内外は、壁に手すりを設置し、廊下等は歩行器、車椅子が通行できるようにしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム新涯

作成日 平成28年2月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議に御家族の参加率が低い。	運営推進会議に御家族の参加率の向上を目指す。	曜日、日時の変更を行い、また、会議に関心をもっていただけるように議事録を請求書等に同封し、関心を持っていただく。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。